

第 49 回香川県環境審議会計画部会（書面開催）委員意見【環境基本計画】

	頁	意見
1	21	<p><u>1-2 環境教育・環境学習の充実</u></p> <p>「環境基本計画」の「1-2 環境教育・環境学習の充実」における現状と課題では、満足している人は2割だという。○の2番目に「県民の環境への関心を高め…」とある。しかし、1-2-2の「きっかけづくりの推進」でも「指標」の「わたしたちにできること」でも一般的な事しか書かれていない。このような書き方は前回の「環境基本計画」でも示されていたのではないか？</p> <p>「環境教育」や「環境学習」では一般的な事を学習することも大切であるが、最も大切なことは、身近な具体的な生活に係る事項から考え始めることであると私は思う。お送りいただいた「香川県地球温暖化対策推進計画」は各頁に具体的な資料がたくさん出されている。</p> <p>「環境教育」や「環境学習」においては、このような資料を用いて温暖化の問題が我々の短期的あるいはやや長期的な生活にどのように結びつくのかを考えるような具体的な施策を行う必要があると思われる。</p>
2	21	<p>一方で、「香川県地球温暖化対策推進計画」では、1. 計画の推進体制では「実践課題」だけで、何故そうすべきか、そのようにしないとどうなるのかがわからない。要するに、「環境基本計画」と「香川県地球温暖化対策推進計画」の連携を感じない。</p> <p>「香川県廃棄物処理計画」も同様である。ここでもたくさんの資料が示されている。にもかかわらず「環境基本計画」に連動していない。また、「香川県地球温暖化対策推進計画」と「香川県廃棄物処理計画」も連動がない。</p>
3	22	<p><u>1-2-2 環境学習のきっかけづくりの推進</u> ア) 環境を身近に感じる場の提供</p> <p>就学前－小学校－中学校－高校－大学－社会人（県民）段階的に環境への意識の高まりを一覧表にして、すべての者が共有すべきである。</p> <p>小学校で取り組んでいることが最終ゴールでどのような姿になっていけばよいのか県民が様々な場で視覚的に（ポスター等）意識できるようにする。そして、その取り組みの様子の写真等をその段階表に加えていく方法で啓発していくことも1つの方法ではないかと思う。</p>
4	24	<p><u>1-3 県民参加の山・川・里（まち）・海</u>の環境保全</p> <p>「環境基本計画」の「1-3 現状と課題」の○の2番目に於いて、他県に先駆け、山・川・・・一つの大きなエリアと捉えて保全・活用・・・と書かれている。この視点はとても重要だと考える。現在生態学では山の栄養塩類が川・海そして再び山という形で循環していると捉えているからである。しかし、具体的な施策展開をみると、「オ）海ごみ対策の推進」において「山・川・里・海」の“海ごみクリーン作戦”しか書かれていない。もうすこし、上記のアイデアを生かした具体的な施策展開を考えられないのだろうか。そうでないと「他県に先駆けて」が竜頭蛇尾になる。</p>
5	27～ 29	<p><u>1-4 うるおいのある快適な地域づくり</u></p> <p>公園・緑地面積の指標、自然公園を除外して、都市公園、港湾緑地に森林公園を加えたことはよいと思うが、面積の目標だけにとどまっている。公園・緑地質的な向上についてはどのように実施し、評価するか？</p>

	頁	意見
6	29 指標 一覧	<u>1-4 うるおいのある快適な地域づくり</u> <u>(指標 1-4-2 国指定の文化財数(累計))</u> R7年度目標値は10とあるが、R2年度(現況)件数の14件を考慮しなくてよいのか。つまり24件としなくてよいのか。
7	33	<u>2-1 地球温暖化の防止を図るための施策(緩和策)</u> 住宅への太陽光発電設備を増やすことはよいと考えるが、単に容量だけを指標にするのではなく、環境条件の整備が必要だと思う。
8	34	<u>2-2 地球温暖化による被害を回避・軽減するための対策(適応策)</u> 意見ではないが、太陽光発電の導入を促進した場合に想定される問題がどうなるのか教示してほしい。
9	39	<u>3-1-2 リサイクルの推進 ア) 市町におけるリサイクルの推進</u> アパートなどでは分別はないようである。市町の違いが大きいため、個別の指導・対応だけではなく、市町の代表者が一同に集まって実際の様子・実態を交流し、市町そして県全体の数値目標を掲げるとよいと思う。それによって何がどのようなものにリサイクルされたか年に数回県民に紹介すると実感が伴い、次の意欲につながる。
10	45	<u>3-3 水循環の促進</u> 節水に関する指標を、平均給水量から節水意識に変更しているが、それでよいのか。
11	48 指標 一覧	<u>4-1 生物多様性の保全</u> <u>(指標 4-1-2 香川県希少野生生物の保護に関する条例に基づく指定希少野生生物の指定種数)</u> 指標変更の理由として、20種の指定を目指すとあるが、R2年度の16種を前提に、4種増加させるという理解でよろしいか。
12	51	<u>4-2-1 有害鳥獣害対策の強化</u> 市街地に出没するニホンザルの捕獲に対して、侵入防止柵の設置などでは被害はなくなる。
13	55	<u>4-3 農地等の保全と持続的活用</u> <u>(各主体の取組方向)</u> 『事業者』の欄に【再掲】とあるが、これは、全計画から再掲したという理解でよいのか。少し分かりづらいような気がする。

第 49 回香川県環境審議会計画部会（書面開催）委員意見【地球温暖化対策推進計画】

	頁	意見
1	31～ 32	ZEH 導入件数、EV 普及台数を目標にすることはよいと思うが、県独自の具体的施策はあるか。 なお、EV と PHV を同列に論じているが、PHV の今後の扱いがどうなるか、国の施策もあるが、世界の流れも視野に入れる必要があるのではないか。
2	35	住宅への太陽光発電設備を増やすことはよいと考えるが、単に容量だけを指標にするのではなく、環境条件の整備が必要だと思う。
3	36	FCV 普及、ぜひ進めてほしいが、EV よりもインフラ整備が難しいと思う。具体的、先導的な施策が必要だと思う。
4	39	都市緑化の推進の指標として、公園・緑地面積だけが上がっているが、これでよいか疑問がある。
5	59	「香川県地球温暖化対策推進計画」では、1. 計画の推進体制では「実践課題」だけで、 <u>何故そうすべきか、そうしないとどうなるのかがわからない。</u>
6		3 計画相互間の連携・連動を感じない。
7	35	1-3-2 太陽光発電の導入促進 ア) 県有施設への太陽光発電の導入促進 県有施設には県立高校も含まれているか。できれば市町の施設の園・小・中学校においても太陽光発電の導入を考えていただき、夏・冬の空調設備利用が高まる昨今、電気代節約に貢献できると考える。
8	39	1-3-2 都市緑化の推進 イ) 建物緑化の推進 緑のカーテンが 10 年前と比較すると学校・家庭において見かけることが少なくなった気がする。何が原因なのか。

第 49 回香川県環境審議会計画部会（書面開催）委員意見【廃棄物処理計画】

	頁	意見
1	48	<p>「廃棄物処理計画」も同様である。ここでもたくさんの資料が示されている。にもかかわらず「環境基本計画」に連動していない。</p> <p>5. 計画の推進体制では「県民の役割」ではやるべき項目だけで、何故そうすべきか、そうするとどうなるのかがわからない。要するに、「環境基本計画」と「廃棄物処理計画」や「地球温暖化対策推進計画」の連携を感じない。</p> <p>「環境基本計画」では1.「1-2 環境教育・環境学習の充実」には現状と課題では満足している人は2割だという。○の2番目に「県民の環境への関心を高め…」とある。しかし、1-2-2の「きっかけづくりの推進」でも「指標」の「わたしたちにできること」でも一般的な事しか書かれていない。このような書き方は前回の「環境基本計画」でも示されていたのではないか？</p> <p>「環境教育」や「環境学習」では一般的な事を学習することも大切であるが、最も大切なことは、<u>身近な具体的な生活に係る事項から考え始めることであると私は思う。</u>お送りいただいた「地球温暖化対策推進計画」「廃棄物処理計画」には、各頁に<u>具体的な資料がたくさん出されている。</u><u>このような資料を用いて具体的に温暖化や廃棄物の問題がどのように我々の生活に結びつくのかを考えるような具体的な施策を「環境教育」や「環境学習」で考える必要があると思われる。</u></p>
2	9~10	<p>P9.10 （5）市町別排出状況</p> <p>市町で差異が大きいのが気になります。取組みの実態を明らかにしたいものです。自治体に p36 助言等を行うと書いてありますが、<u>子どもたちによる環境サミットを開催する</u>というのはどうでしょう。子どもたちの声・力が社会を変えることもあると思います。</p>